



七月十四日(水) 七月十六日(金) 午前十一時より

お施餓鬼法要を厳修致します。

お盆は、お釈迦様の教えに従い、目連さまが亡き母を供養したことに由来して、お施餓鬼の法要の時、過去宝勝如來・妙色身如來・甘露王如來・広博身如來・離怖畏如來をあらわした五色の旗をかけて供養します。①ギスギスしたところがなく②心を豊かに③醜い心を美しく心身に清らかに④咽喉を広くして食べ物を受けさせるように⑤恐怖をみない取り除いて餓鬼の境涯を離れることができますように、と五つの願いが込められています。この五如來の五つの願いが、今日のお施餓鬼の基本になっています。お釈迦さまは「施餓鬼棚に新鮮な山海の飲食をお供えし、修行僧に施餓鬼の法要を営んでもらいなさい。そうすれば、少量の供物は無量の供物となり、すべての餓鬼は救われ、お前も長寿を得ることができ、さとりをひらくことができますのだらう。」と説いています。お盆にはお施餓鬼をあげて先祖に感謝し、墓参致しましょう。当日、お斎の用意があります。

日蓮聖人遺訓 2

災いは口より出でて身をやぶる。幸いは心より出でて我をかざる。」

他人の悪口をいうことは、やがては人から嫌われることになってしまいます。いつも他人に思いやりの心を...



宝青寺

平成十七年度からのお会式について

お会式とは、宗祖日蓮聖人が弘安五年(一八二二)十月十三日、信徒池上宗仲邸において六十一年の生涯を閉じられた御命日に、追善と感謝を込めて、日蓮宗各寺院で営まれていく法要のことです。当山では、毎年十月十二日に行い、当山を中心とした檀信徒で結成された、多数の結社・講中が奉納する「万灯」が練り歩き、宗派を越えて、近隣の町や村からお嫁に行った娘さんが、里帰りをして参加するなど、最近では、神社の村祭りのような賑やかなお祭りとなっています。

お会式は、宗祖の御命日に、追善と感謝を込めて、日蓮宗各寺院で営まれていく法要のことです。当山では、毎年十月十二日に行い、当山を中心とした檀信徒で結成された、多数の結社・講中が奉納する「万灯」が練り歩き、宗派を越えて、近隣の町や村からお嫁に行った娘さんが、里帰りをして参加するなど、最近では、神社の村祭りのような賑やかなお祭りとなっています。

人若くは老い、人生で経験を重ね、老境に達して円熟し一生を終る。

これは一般的な人生であり、人はそれを目指して生きています。しかし、人には身心的な衰えによって生じる様々な「理想とは逆」の状況が待ち受けています。私達はこの「老い」と「精神的衰え」にどう対処すれば良いのか。ライフカードという人は、老人の性格を①「円熟型」年をとって自己をありのままに受容し、しかも、人生に建設的な態度を持ち、積極的な社会生活を続けながら、そこに満足を見いだすタイプ。②「依存型」万事に受動的で消極的、責任から解放され、老人としていたわられることを好み、依存的欲求が満たされることに満足するタイプ。③「防衛型」老化や老衰に対する不安と拒否が内在しており、その反動として積極的活動を維持し、それを若さの証とするタイプ。④「自責型」過去を悔み、自分の失敗や不幸に対して自分を責めるタイプ。(うつ状態に陥りやすい)⑤「攻撃憤慨型」自責型と反対に、自分の不幸を他人のせいにして、他人を非難攻撃して悩ませるタイプ。現在、六十五歳以上の約四割に痴呆がみられるとのことです。東京都の調査によると、六十五歳以上の人で痴呆になった人とならない人とは性格の変化に違いがあると報告されています。痴呆になった人はわがまま・頑固・猜疑的・短気が多いが、痴呆にならない人には円満・外向的な人が多いそうです。ということは、ライフカードの①「円熟型」を目指すことが痴呆予防につながると言えそうです。人の心のわがまま・頑固・猜疑・短気が抑え、円満・円熟へと導くのが仏の教えですから、仏教の正しい教えの実行が精神の老化を防止する最高の方法であると言えるのではないのでしょうか。

ことと致しました。

今まで、当山最大の行事を支えてこられた、総代・世話人・檀信徒の皆様には大変お世話になりました。有難うございました。

①身延山五重塔 再建の寄附

身延山五重塔再建の寄附、当山関係の皆様方にお願ひ致しましたところ、平成十七年六月末日までに、一六七名の方から目標額の五、〇〇〇、〇〇〇円の約半分の総額二、三三八、〇〇〇円の浄財が寄せられました。

締め切りは平成十八年十二月となっております。住職として、平和祈願の象徴でもある五重塔の再建に協力したいと考えております。再度のご理解とご協力を願ひ致します。

②管理料 自動払込手続き 再度のお願い

平成十七年度分の管理料納入より、郵便局の自動払込の方法を導入致しました。変更を知らなかったという方も多く、今年度は管理料の振り込み用紙が送られてこないのですが、との苦情の電話も多くなりましたので、再度、ご案内致します。平成十八年度からの自動払込の手続きは早からでも間に合います。自動払込を希望される方は、管理料の郵便局自動払込申込書を管理事務所にお電話でご請求下さい。

尚、今までと同様に他銀行から振込をされる場合は銀行の備え付け用紙をご利用になります。

振込先 郵便局 記号 一〇一〇〇
番号 八二七七六〇七一
名義 イシイ センソウ

にお振り込み下さるようお願いいたします。